

# 長岡京市人権教育・啓発推進計画策定 に関する市民意識調査報告書

## < 概要版 >

### 調査の概要

#### ○調査の目的

本調査は、人権教育・啓発に関する市民の意識と実態を把握し、「第3次長岡京市人権教育・啓発推進計画」策定の基礎資料とするため、市民意識調査を実施しました。

#### ○調査の対象

住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上の長岡京市内在住の男女2,000人（外国人含む）

#### ○調査の方法

郵送による配布・回収、  
またはWEBによる回答

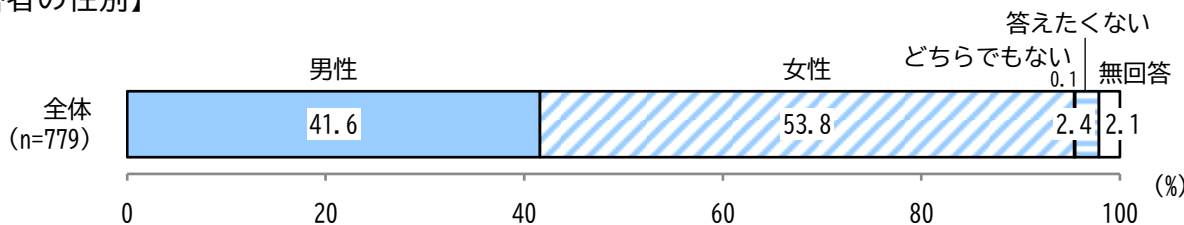
#### ○調査の期間

令和7年9月3日（水）～9月26日（金）

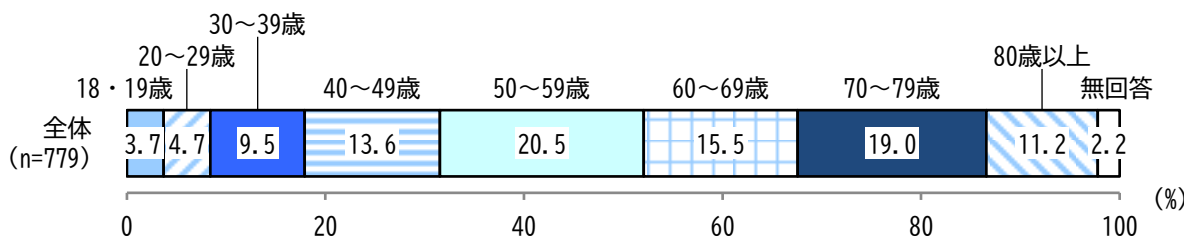
#### ○回収状況

配布数 2,000件      有効回収数 779件      有効回収率 39.0%

#### 【回答者の性別】



#### 【回答者の年代】



#### ○留意点

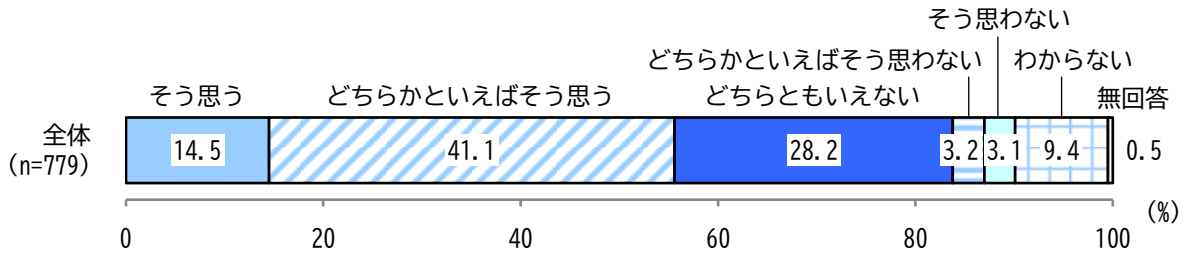
この概要版は、別途作成している報告書本編から抜粋したものとなりますので、調査結果の詳細は本編をご覧ください。

令和8年3月  
長岡京市

## ◇人権尊重の感じ方

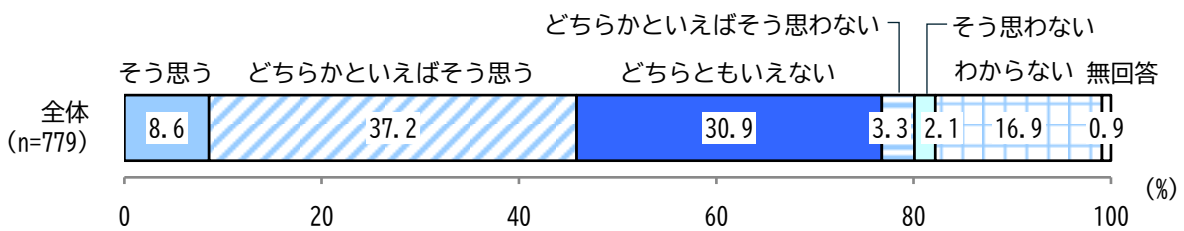
【市民一人ひとりの人権意識は、10年前と比べて高くなっていると思いますか？】

・10年前と比べて高くなっていると思っている人は55.6%。



【長岡京市は、人権が尊重された豊かな社会になっていると思いますか？】

・人権が尊重された豊かな社会になっていると思っている人は45.8%。

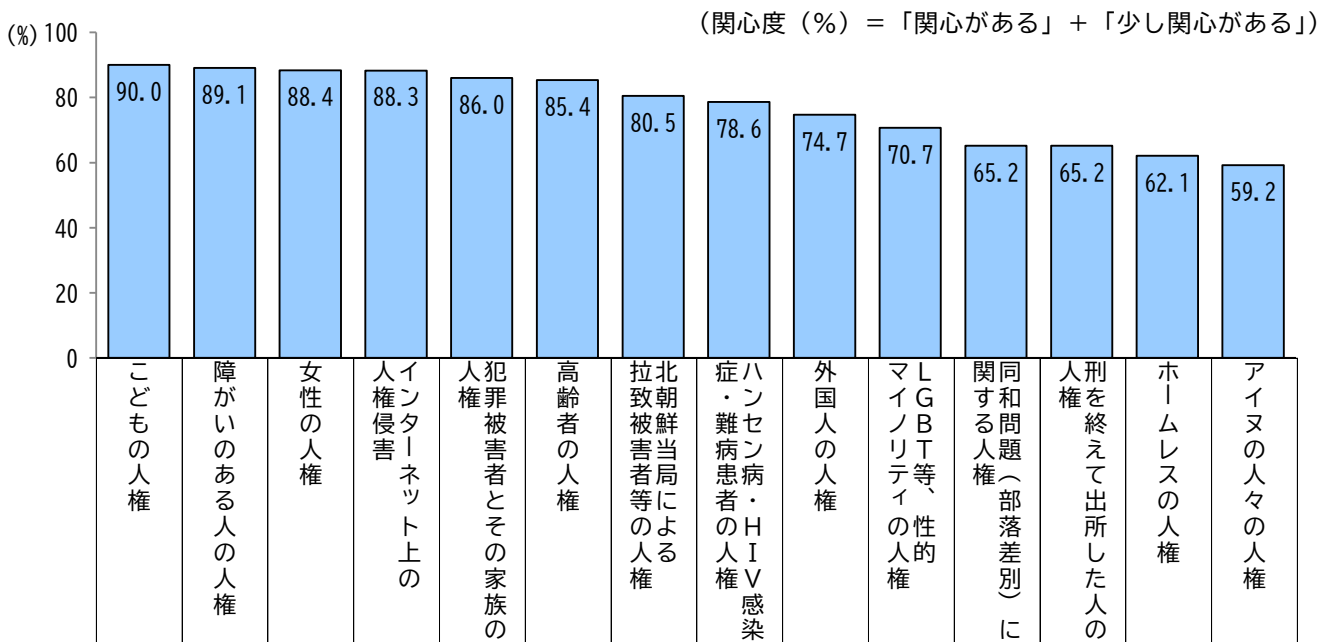


## ◇人権問題に関する関心度

【人権問題について、関心がありますか？】

・最も関心の高い人権問題は「子どもの人権」(90.0%)。

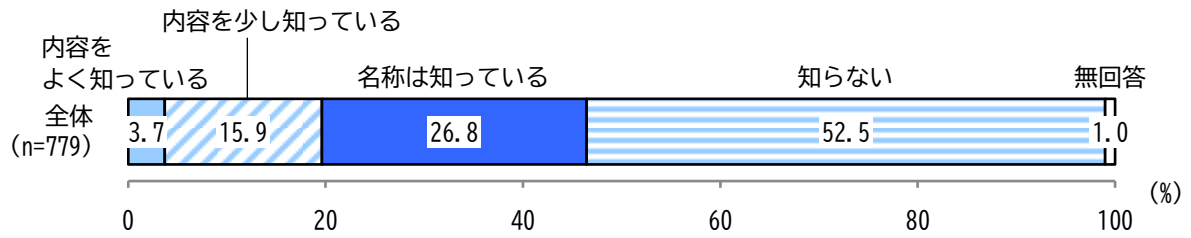
・次点は、「障がいのある人の人権」(89.1%)、「女性の人権」(88.4%)、「インターネット上の人権侵害」(88.3%)が多い。



## ◇障がいのある人の人権問題について

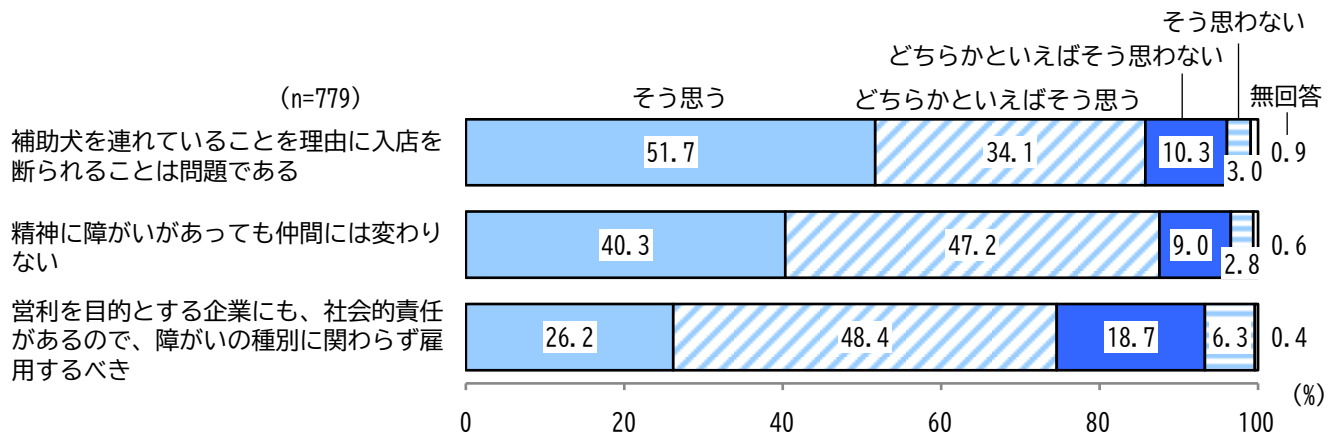
### 【障害者差別解消法を知っていますか？】

・全体の約5人に1人が、「障害者差別解消法」を知っている（19.6%）。



### 【障がいのある人の人権に関する、それぞれの意見についてどのように思いますか？】

- ・「補助犬を連れてくることを理由に入店を断られることは問題である」に肯定派が多い（85.8%）。
- ・「精神に障がいがあっても仲間には変わらない」に肯定派が多い（87.5%）。
- ・「営利を目的とする企業にも、社会的責任があるので、障がいの種別に関わらず雇用すべき」は肯定派が多い（74.6%）。



## 人権に関して、知ってほしい言葉

きょうせいしゃかい  
共生社会

すべての人々が互いに理解をもって共存し、すべての文化や考えが互いに交流し合うことのできる社会のことを指します。

LGBT

Lesbian (レズビアン)、Gay (ゲイ)、Bisexual (バイセクシュアル)、Transgender (トランスジェンダー) の頭文字を組み合わせた言葉です。LGBTは、人口に占める割合が少ないことから性的少数者（セクシュアルマイノリティ）といわれることもあります。※そのほかにも様々なセクシュアリティの方がいます。

たぶんかきょうせい  
多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを指します。

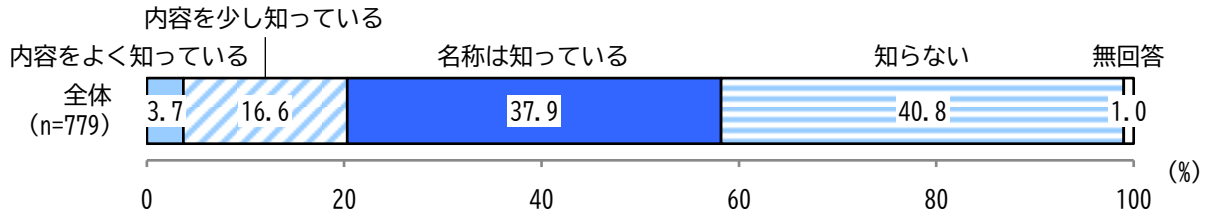
ノーマライゼーション

障がいのある人や高齢者など、社会的に不利益を受けやすい人々を特別視するのではなく、一般社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそノーマルな社会であるという考え方を指します。

◇外国人等の人権問題について

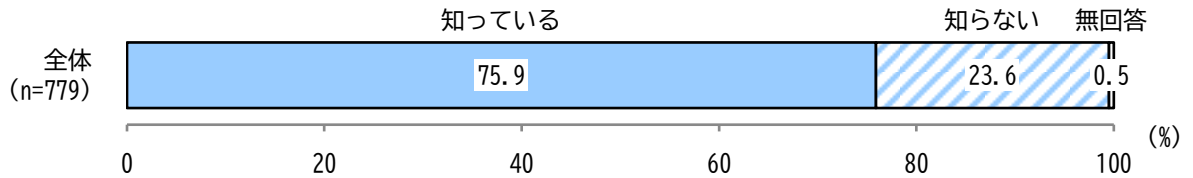
【ハイトスピーチ解消法を知っていますか？】

・全体の約5人に1人が、「ハイトスピーチ解消法」を知っている（20.3%）。



【ハイトスピーチの存在を知っていますか？】

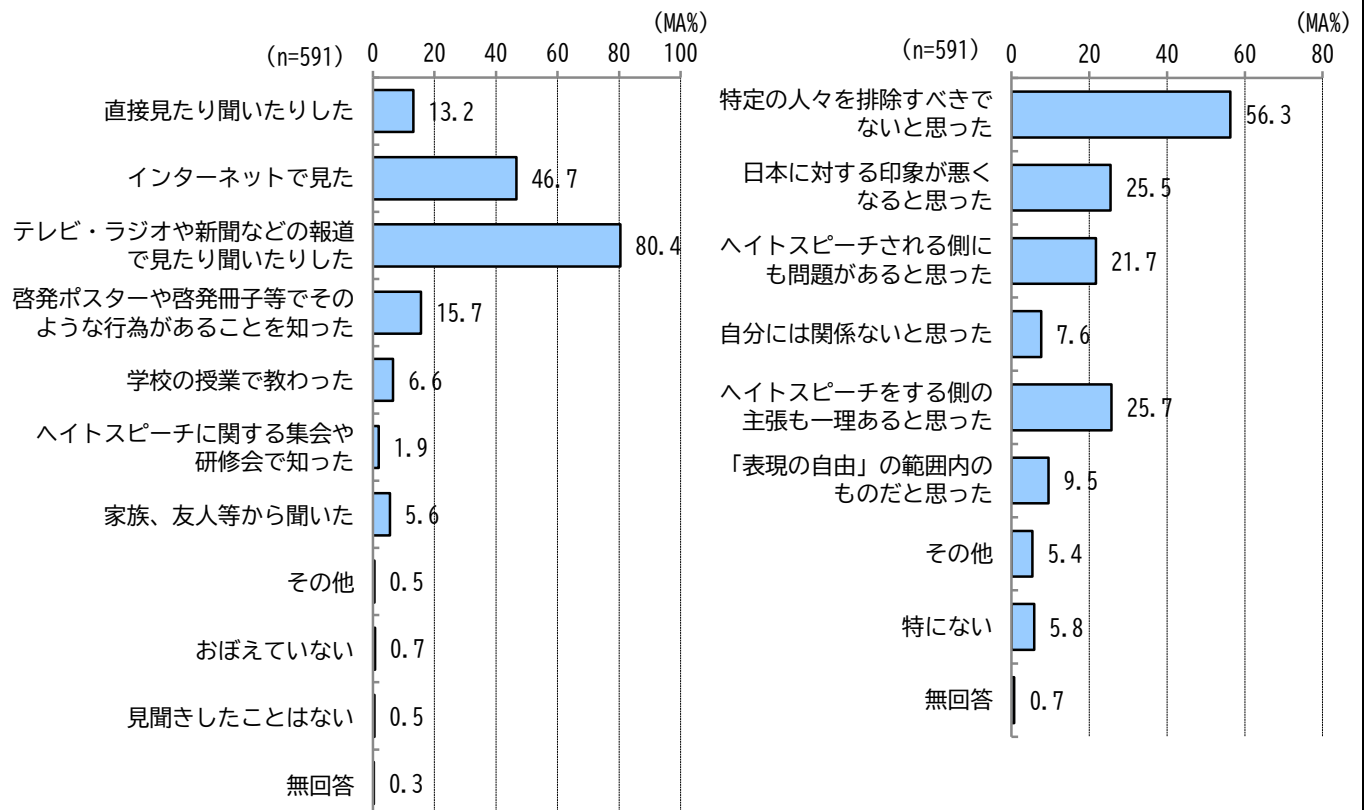
・全体の75.9%の人が、「ハイトスピーチ」の存在を知っている。



【ハイトスピーチをどこで見聞きし、また、どのように思いましたか？】 <複数回答>

・ハイトスピーチを「テレビ・ラジオや新聞などの報道で見たり聞いたりした」で見聞きした人が最も多い（80.4%）。

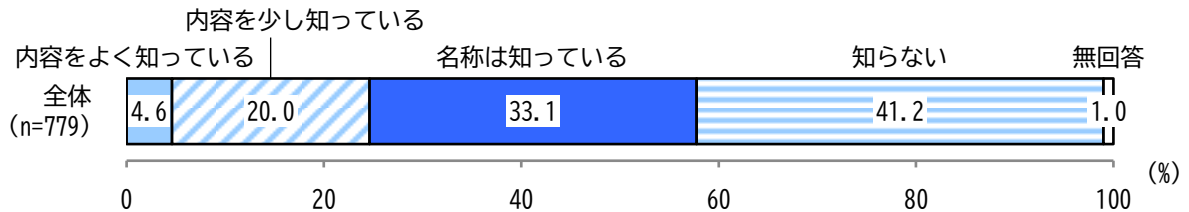
・見聞きした感想で最も多いのは「特定の人々を排除すべきでないと思った」（56.3%）。



◇同和問題（部落差別）について

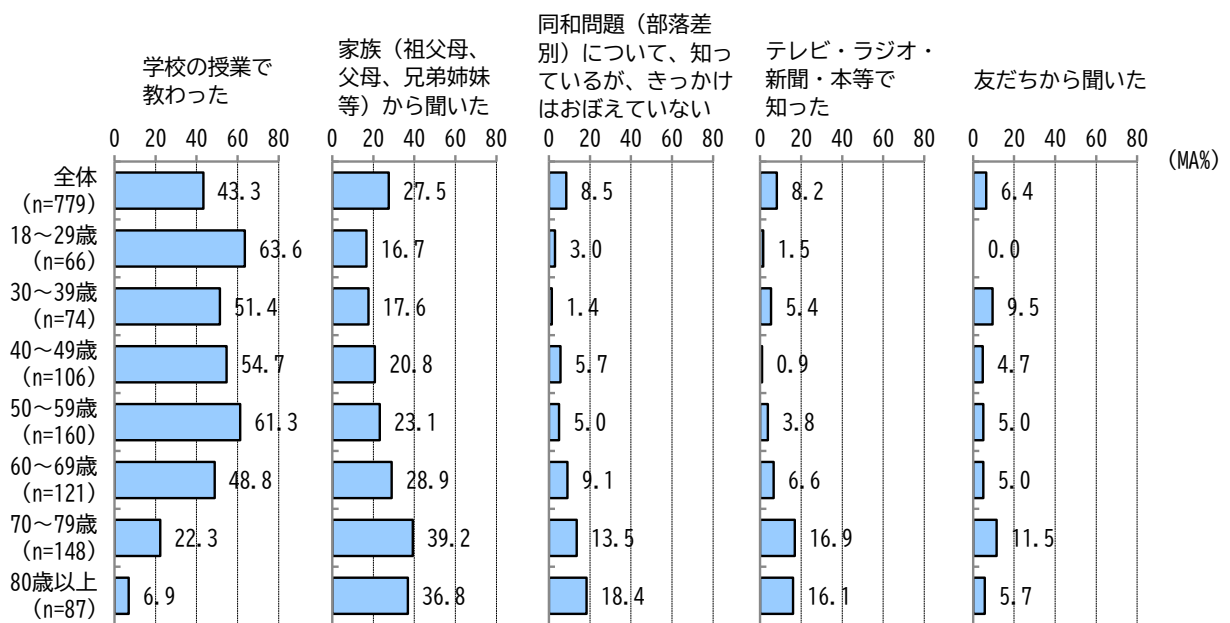
【部落差別解消推進法を知っていますか？】

・全体の約4人に1人が、「部落差別解消推進法」を知っている（24.6%）。



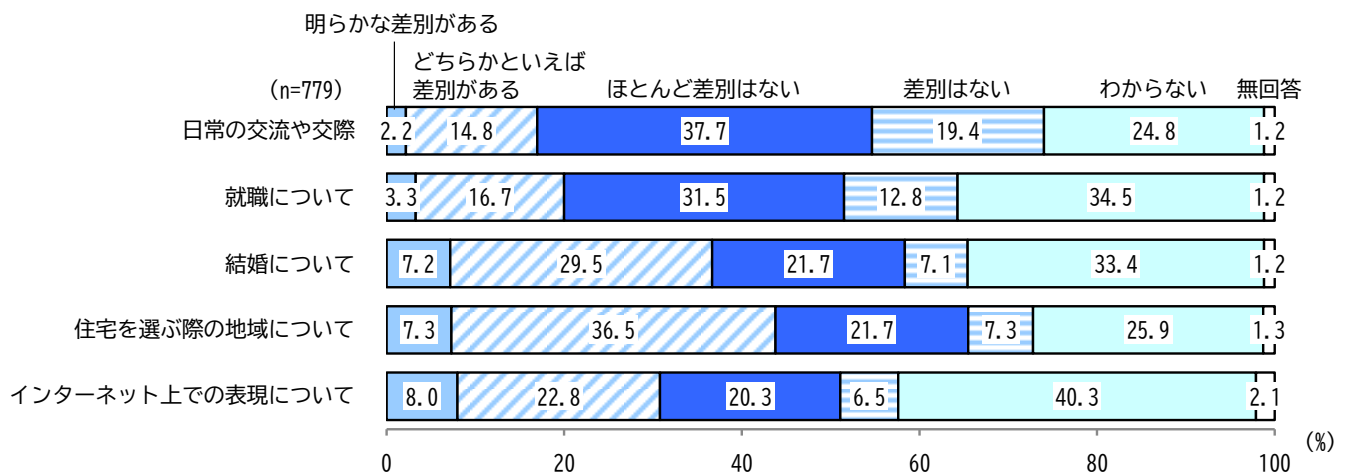
【同和問題（部落差別）をはじめて知ったきっかけは何からですか？】 <複数回答：上位5項目>

・10～60歳代は「学校の授業で教わった」が最も多い。  
 ・70歳以降になると「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）から聞いた」が最も多い。



【現在、同和問題（部落差別）があると思いますか？】

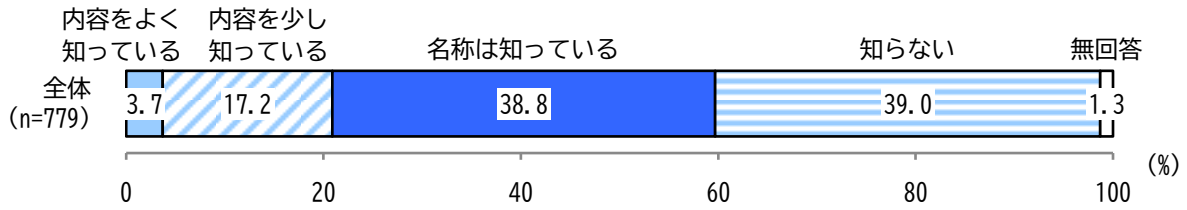
・差別があると答えた人は、「住宅を選ぶ際の地域について」で43.8%、「結婚について」で36.7%、「インターネット上での表現について」で30.8%、「就職について」で20.0%、「日常の交流や交際」で17.0%。



◇性的少数者の人権問題について

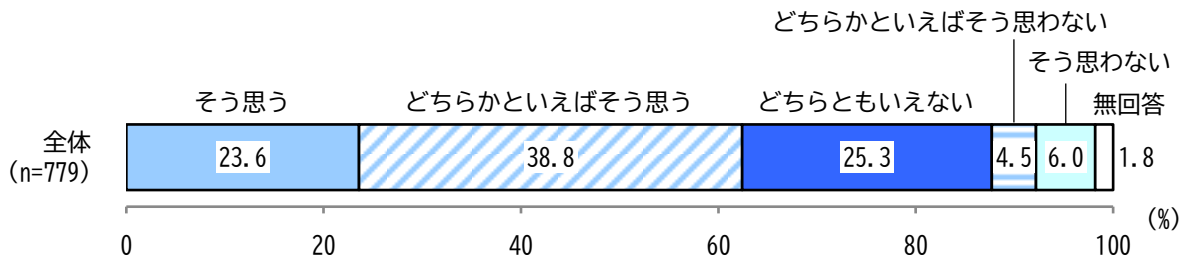
【LGBT理解増進法を知っていますか？】

・全体の5人に1人が、「LGBT理解増進法」を知っている（20.9%）。



【性的少数者であることを身近な人にも言えない社会は問題である】

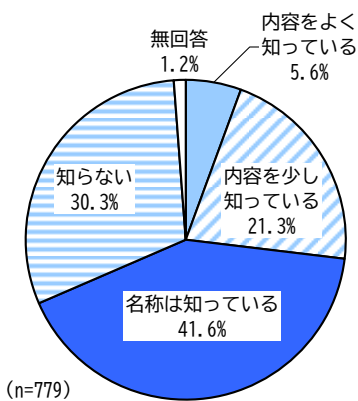
・肯定派の人は62.4%。



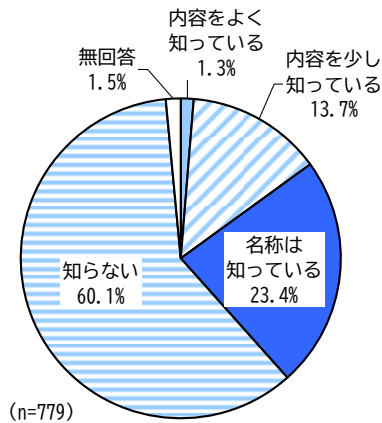
◇その他の法律の認知度

【次の法律を知っていますか？】

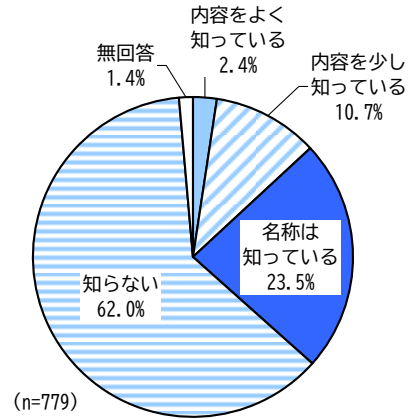
【こども基本法】



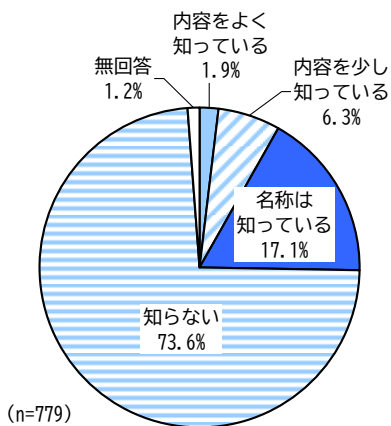
【困難な問題を抱える女性への支援に関する法律】



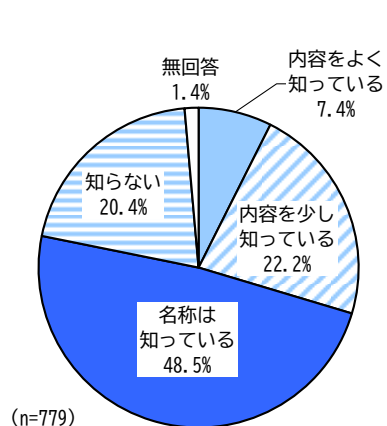
【認知症基本法】



【情報流通プラットフォーム対処法】



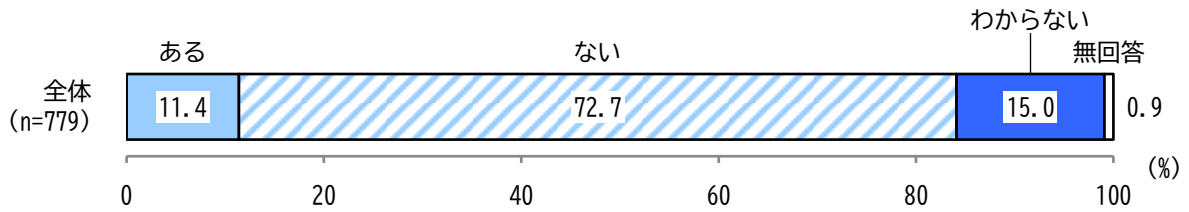
【いじめ防止対策推進法】



## ◇人権侵害された経験

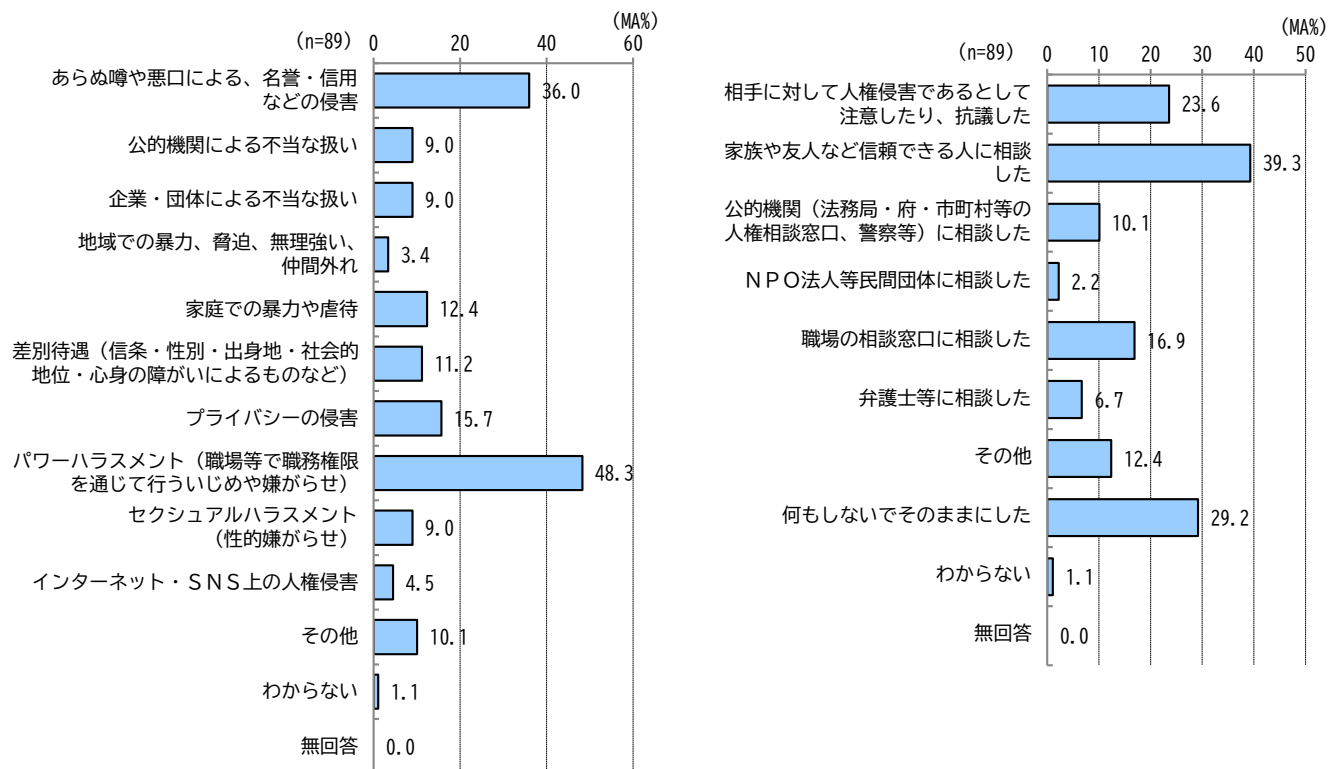
### 【過去5年間に人権を侵害されたと感じたことがありますか？】

・過去5年間に人権を侵害されたことがある人は11.4%。



### 【どのような人権侵害でしたか？その際、どう対応されましたか？】 <複数回答>

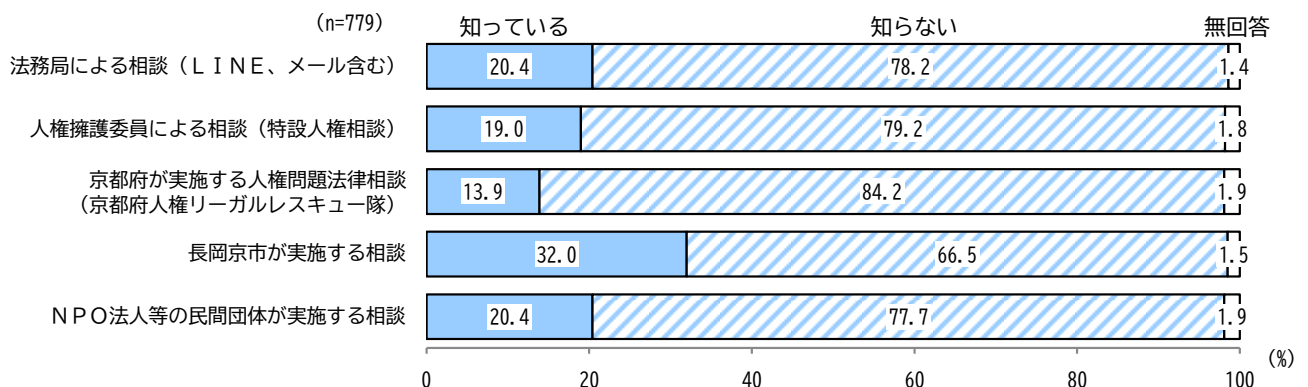
・「パワーハラスメント」(48.3%) が最も多く、次いで「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」(36.0%) が多い。  
 ・侵害を受けたと感じた際の対応として、「家族や友人など信頼できる人に相談した」が最も多い(39.3%)。



## ◇人権相談窓口の認知度

### 【人権相談窓口を知っていますか？】

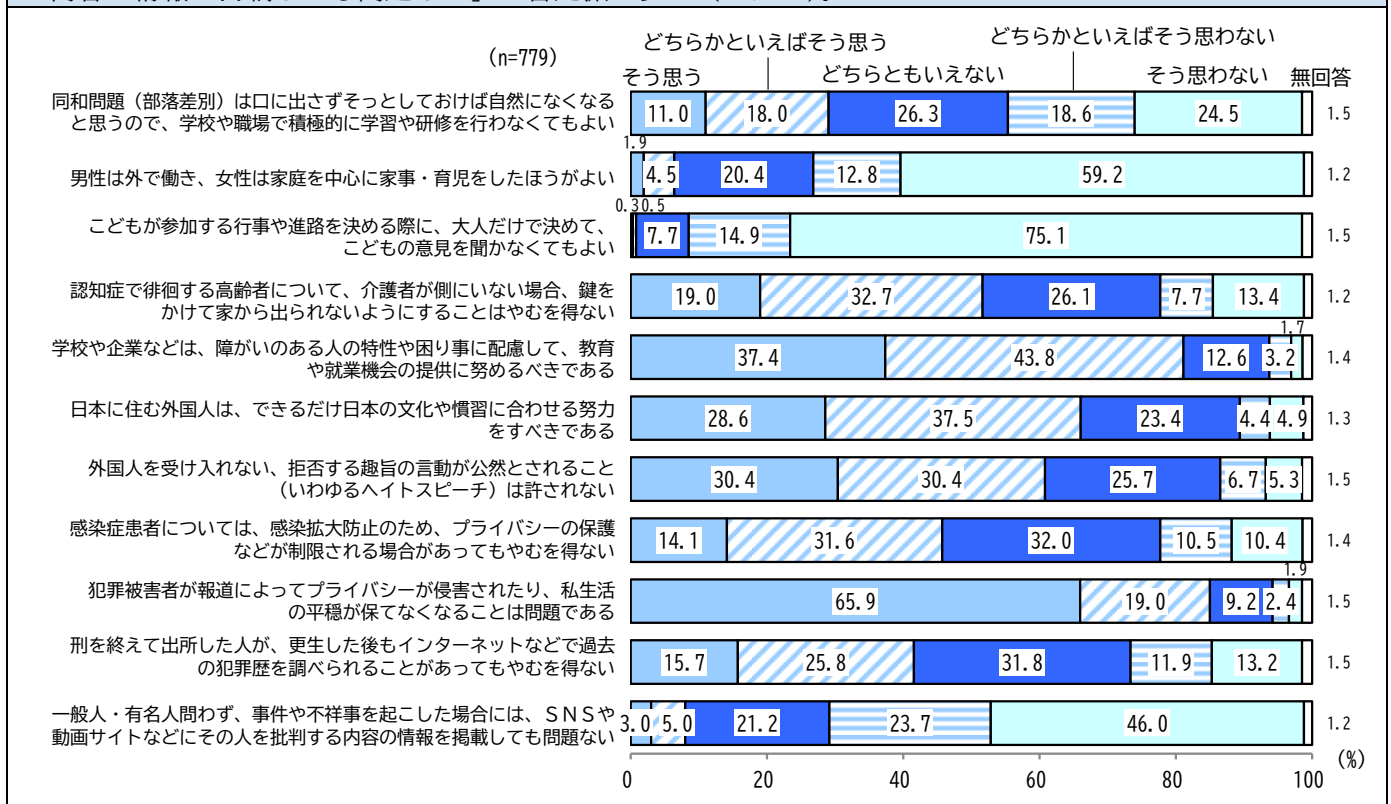
・認知度が最も高い人権相談窓口は、「長岡京市が実施する相談」(32.0%)。



## ◇身近な人権問題に関する考え方

### 【身近な人権問題についてどう思いますか？】

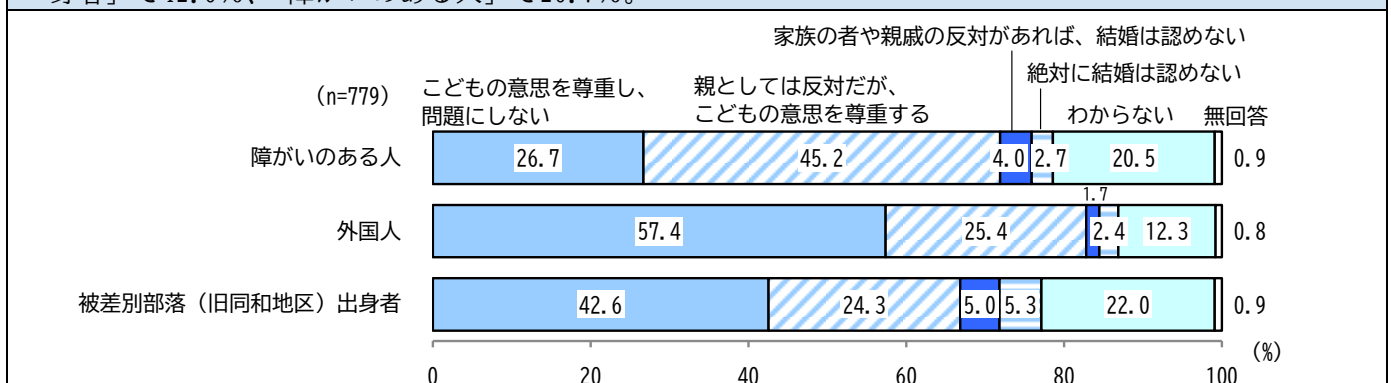
- ・「同和問題（部落差別）は口に出さずそっとしておけば自然になくなると思うので、学校や職場で積極的に学習や研修を行わなくてもよい」は否定派が多い（43.1%）。
- ・「男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をしたほうがよい」は否定派が多い（72.0%）。
- ・「子どもが参加する行事や進路を決める際に、大人だけで決めて、子どもの意見を聞かなくてもよい」は否定派が多い（90.0%）。
- ・「学校や企業などは、障がいのある人の特性や困り事に配慮して、教育や就業機会の提供に努めるべきである」は肯定派が多い（81.2%）。
- ・「日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や慣習に合わせる努力をすべきである」は肯定派が多い（66.1%）。
- ・「外国人を受け入れない、拒否する趣旨の言動が公然とされることは許されない」は肯定派が多い（60.8%）。
- ・「犯罪被害者が報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなることは問題である」は肯定派が多い（84.9%）。
- ・「一般人・有名人問わず、事件や不祥事を起こした場合には、SNSや動画サイトなどにその人を批判する内容の情報を掲載しても問題ない」は否定派が多い（69.7%）。



## ◇子どもがいた場合に、子どもの結婚相手で判断する条件

### 【結婚相手の判断条件についてどう思いますか？】

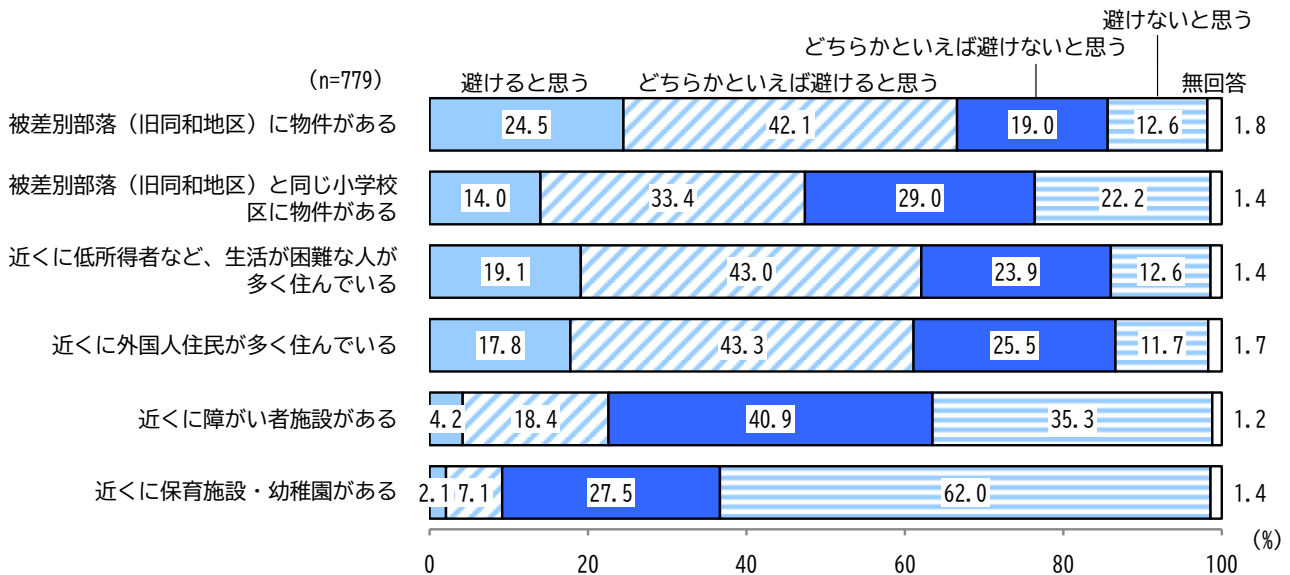
- ・“子どもの意思を尊重し、問題にしない”との回答は、「外国人」で57.4%、「被差別部落（旧同和地区）出身者」で42.6%、「障がいのある人」で26.7%。



◇価格等の希望があっている場合の、住宅購入時等に判断する条件

【住宅購入時等の判断条件についてどう思いますか？】

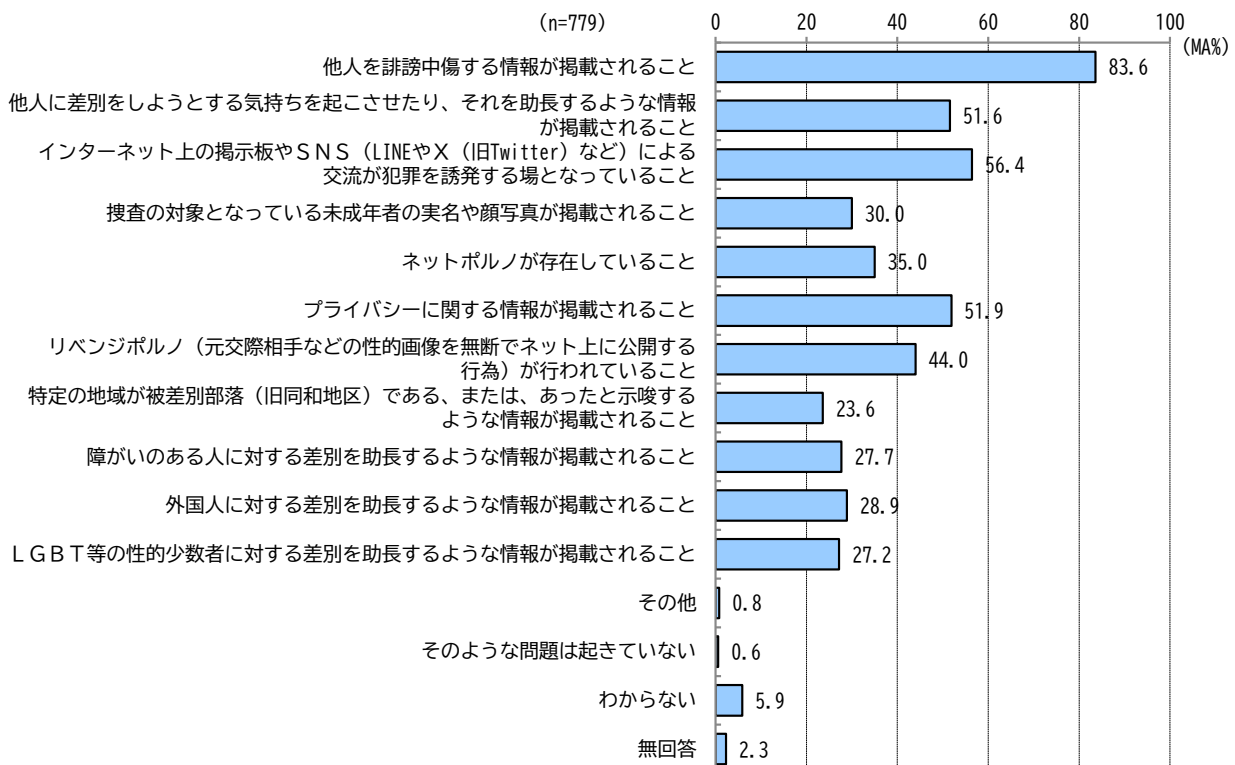
- ・「被差別部落（旧同和地区）に物件がある」、「近くに低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」、「近くに外国人住民が多く住んでいる」は避ける人のほうが多い（66.6%、62.1%、61.1%）。
- ・「被差別部落（旧同和地区）と同じ小学校区に物件がある」、「近くに障がい者施設がある」、「近くに保育施設・幼稚園がある」は避けない人が多い（51.2%、76.2%、89.5%）。



◇現在起きているインターネット上での人権侵害＜複数回答＞

【インターネット上での人権侵害について、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか？】

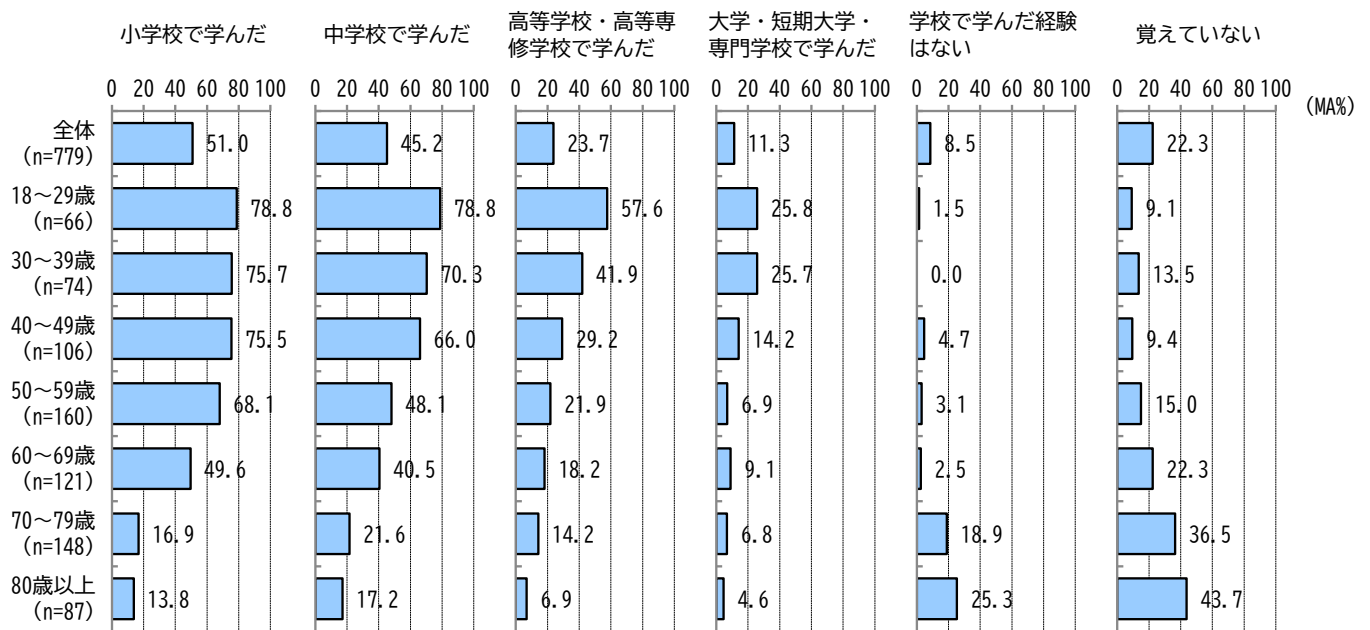
- ・「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多い（83.6%）。
- ・次点で「インターネット上の掲示板やSNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」（56.4%）、「プライバシーに関する情報が掲載されること」（51.9%）。



◇人権問題について、学校の授業で学んだ経験<複数回答>

【人権問題について学校の授業等で学んだことがありますか？】

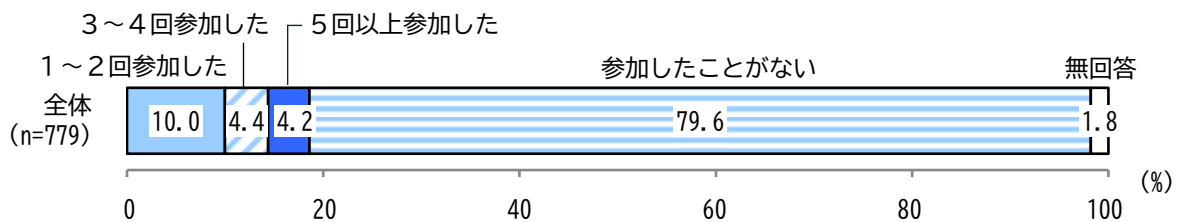
- ・10～60歳代は、「学校で学んだ経験がある」が比較的多い。
- ・70歳以降は、「学校で学んだ経験がない」・「覚えていない」が比較的多い。



◇人権研修等への参加状況（過去5年間）

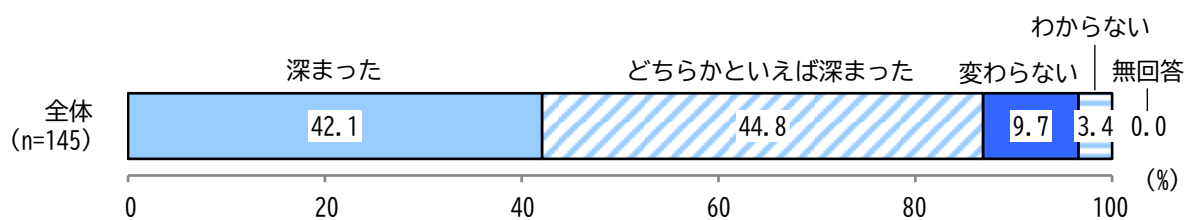
【最近（5年間）に、人権問題に関する研修会や行事等に参加されたことはありますか？】

- ・「参加したことがない」が79.6%で、参加したことがある割合は18.6%。



【参加して人権問題に対する理解・認識は深まりましたか？】

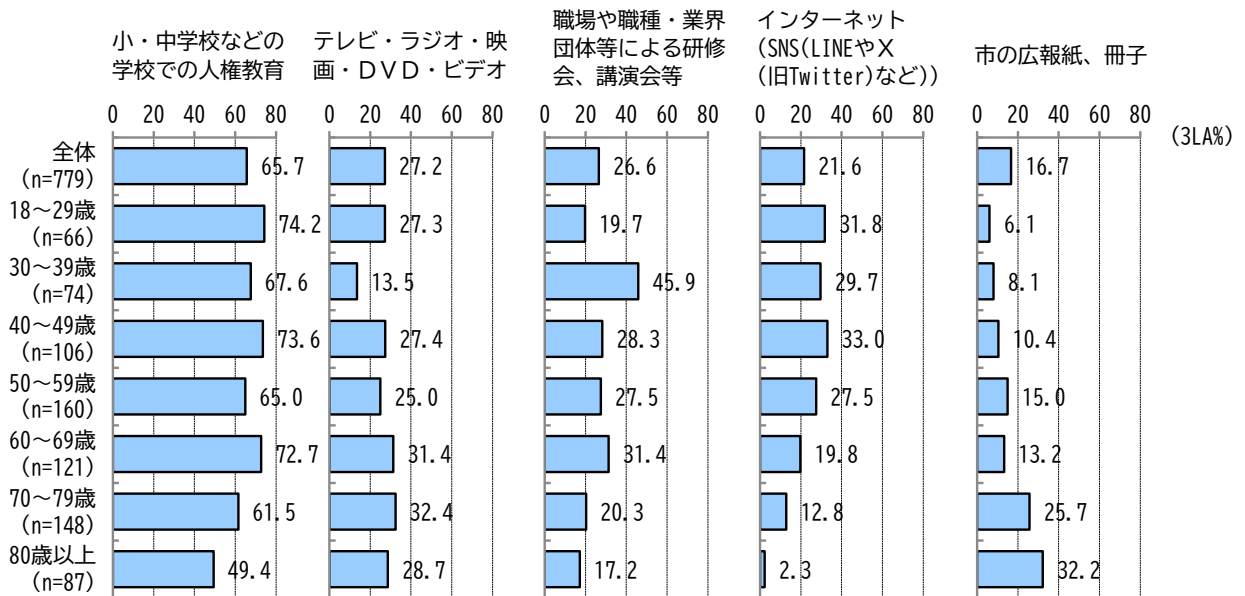
- ・参加したことがある人の86.9%は、深まったと回答。



◇人権問題を深く知る方法<複数回答：上位5項目>

【人権問題について理解や認識を深めるためには、どのようなものが役立つと思いますか？】

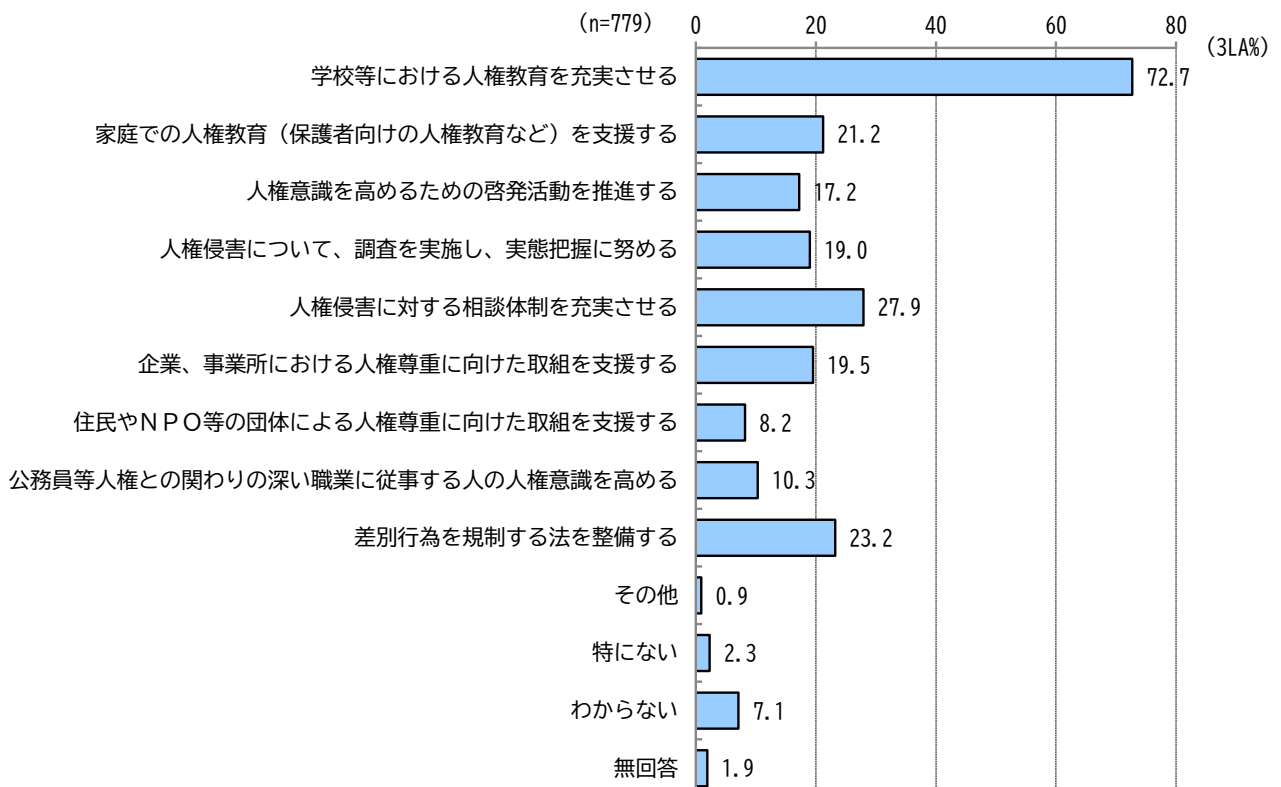
- ・全年代で「小・中学校などの学校での人権教育」が約5～7割。
- ・高い年代ほど「市の広報紙、冊子」が多く、低い年代ほど「インターネット」が多い傾向にある。



◇人権が尊重される社会づくりに向けた施策<複数回答>

【人権が尊重される社会を実現するために、どのような施策を実施する必要があると思いますか？】

- ・「学校等における人権教育を充実させる」が最も多い（72.7%）。
- ・次点は「人権侵害に対する相談体制を充実させる」（27.9%）、「差別行為を規制する法を整備する」（23.2%）。





長岡京市人権マスコット  
「たけとん」

長岡京市人権教育・啓発推進計画策定に関する市民意識調査報告書〈概要版〉



発行：長岡京市 対話推進部 共生社会推進課  
〒617-8501 京都府長岡京市開田一丁目1番1号  
TEL (075) 955-3180 / FAX (075) 951-5410